広報あいかわ

発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
編集責任者
広報係　杉淵佐一郎
（合川町役場総務課
TEL合川4番）
（1回発行部数2,450）
定價　1部　5円

念願ついに達成!!

町勢発展に大きな役割

―直線道路「中央線」開通―

本町の新町建設計画の基礎であつた「直線道路」は去る六日の橋梁竣工をもつて昭和三十年事業に着手以来、四ヵ年にわたる歳月と総工費二千六百余万円、延五万人におよぶ労力を投じた町始まつて以来の大工事をみごとに完成した。

この直線道路は、合川駅前業として同工事に着手以来利便を与えるほか、上小阿から合川病院前を通つて、さらに鷹巣土建KKと秋田仁村方面からの物資交流に李岱部落に通ずる一、六四土建KKの手によつて工事も一大寄与することになり八、六米（内橋梁延長一九が進められ早急な完成が望来春永久橋完工が予定され三、九米）巾員七米という まれていたものであつた。ている阿仁川橋の実現を見立派なものでトラック、バ この直線道路の開通により るまでは、町内唯一の交通スなども自由に走行できる 駅前～李岱間の距離が従来路となるものとみられている。広さである。 の三、五〇〇米から約半分 町では去る六日午前十一時町では去る三十年来失対事に短縮されて町民の交通に

新町建設の最も重要施策である町道中央線開通、合川橋竣工の式典を行うことが出来ましたことは、私の終生忘れ得ない感激であります。

旧四ヵ村が合川町として発足する際、合併促進の協議段階にあつて、この道路の開通こそは住民の宿願であり、その実現は合川町の住民感情の融和と行政、経済教育文化を支配する動脈であることを論じ合つたためでありますが、本日公式に協議されてから満四ヵ年の歳月と約二千六百万円の町費を投じ、さらには潰地関係者の多大の犠牲のもとに竣工の運びとなつたのであります。

畠山町長

式辞

当時私どもは正直なところはじめその出先機関、秋田営林局ならびに地元七座営林署の上は長から下は一般従業員に至るまで、絶対的な御高庇を賜わつたことに心から御礼申上げる次第であります。

また隣村上小阿仁村は米穀一万余俵の収容力をほこる大農業倉庫を合川駅前に新築された関係から、この道路の開通を当町民と斉しい立場で願望し開通のためにこの実現には全く自信がなかつたわけで、その可否が他の問題と混み合つて、町政も難行し、猜疑と謀略の町と化すおそれがあつたのでありますが、町民各位は正当なる与論として、この実現に集約的な協力を惜しまなかつたためであります。

町議会もまたこれに呼応してよく民意を反映した町政の立場を守つて来たのでありまして、その協力には深く感謝申上げる次第であります。

この間、県当局を沿線に新町の中心街を型成することになつておりますが、本日御来臨の各位の絶大なる御指導と御鞭撻を心から申上げ、所懐の一端を申述べまして式辞といたします。

×　×　×

小畑知事

祝辞

わが郷土の大先輩、元県議会議長故庄司易五郎翁が存命中、この道路の開通を図りその将来にわたる経論をもつて一部着工しながら杜絶してから数十年、新町の誕生を契機としてその夢が実現したことをここに翁の魂魄に対して御報告申上げる次第であります。

合川町はこの町道中央線をもつて、合川駅前と旧来の中心地李岱とを結び、その中心街を型成することになつておりますが、本日御来臨の各位の絶大なる御指導と御鞭撻を心から申上げ、所懐の一端を申述べまして式辞といたします。

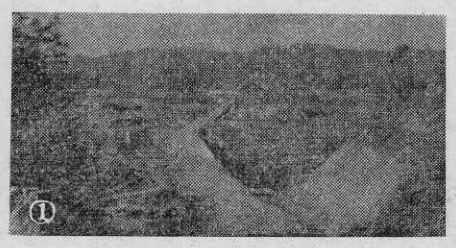
本町合川橋の竣工をもつて中央線がめでたく完通しこに盛大な式典を挙げられるに至りましたことはまことに慶祝に堪えない次第であります。

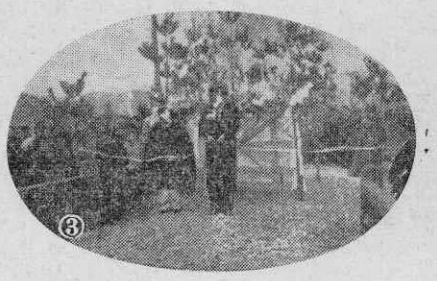
本町が町村合併により新しく合川町として発足して三年有余、現下行財政運営上いろいろ困難があるにもかかわらず町民こぞつて新町建設に営々として努力せられ、昨年七月には新町の象徴であります役場庁舎の落成を見、いままた町村合併以来の念願でありました合川橋が見事に竣工しここに中央線の開通がなりましたことは合川町将来の発展にとりましてまことに意義深いことであると存ずるものであります。申上げるまでもなく道路、橋梁の整備充実は経済文化の隆昌による地域の発展ならびに民生安定の基礎となるものでありまして、中央線の開通により合川町の経済文化の発展の基礎が一層強化され、また新町の一体性の確保の面からも町民にとりましては大きな幸福と喜びであると存じます。

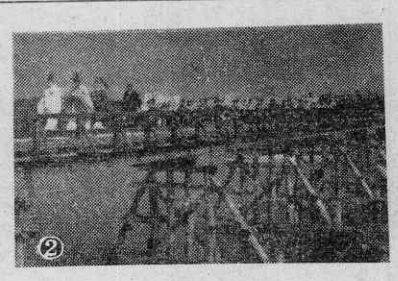
市町村は基礎的な自治体であつて地方自治行政の根幹をなすものであります。したがつてその規模を合理化し、その組織運営を適正化することは地方自治行政の発展を期する上において最も大事なことであり、町村合併促進法もこの目的を達成するために制定されたのであります。市町村当局はもとより関係住民の理解と協力とにより概ねその目的を達成することが出来たのであります。しかし合併によつて出来上つた新市町村の現状はその規模において法の所期した姿にはなりましたが内容の充実強化はこれからであります。

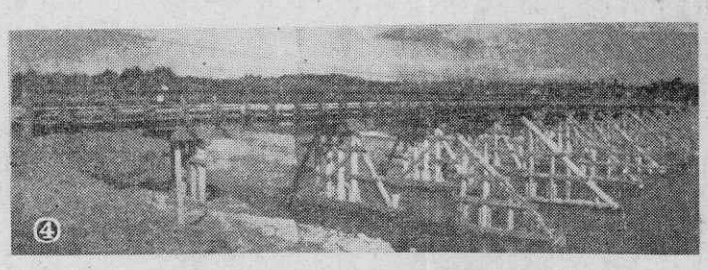
合川町におかれましては財政再建団体として財政再建計画に基いて着実に赤字を解消し、健全財政の回復を図りつつ苦しい財政の中であらゆる障害を克服して昭和三十年度は失業対策事業昭和三十一、三十二年度は新町建設施設整備事業、今年度は単独事業として総事業費二千数百万円を要した中央線がここに開通するに至りました事は、町民の町政に対する理解と町議会及び町当局の並々ならぬ御心労と御熱意の結晶でありまして、地方自治振興の誠意に対して深甚なる敬意を表すると共に町将来の為力強く感ずる次第であります。

今後益々全町民が一致協力して新町の建設に精進せられますよう切望するとともに、合川町のすこやかな発展を祝福申上げまして祝辞といたします。









学生の合川橋渡り初め。③合川橋渡り初めの直前テープを切る畠山町長。④合川橋全影。

【写真説明】①開通した町道中央線向うは李岱部落。②日の丸と町章旗を手に小から町内外の来賓約三百名を招いて開通式を行い、この道路を〝中央線〟また橋梁を〝合川橋〟とそれぞれ命名したほか道路開通にあたつてとくに功労のあつた川井、李岱の両部落および鷹巣土建、秋田土建の両業者に記念品を贈つてその功績を讃えた。

直線道路にバス運行

＝秋北バスKKで＝

秋北バス株式会社では直線道路の開通にともない、在来の鷹巣～上小阿仁間のバス路線経路を一部変更し直線道路経由のダイヤを次のように編成してバスの運行を行つている。

合川駅前及び李岱の発着時刻は次のとおり。

◇上小阿仁行

合川駅前発		鷹巣行	
七、〇二	八、一二	李岱発	八、一四
九、二二	一一、二二	七、〇四	一一、二四
一三、四二	一六、〇七	九、二四	一三、四四
一八、二二		一八、二四	一六、〇九

◇合川駅前発

李岱発		合川駅前発	
六、一六	七、二六	七、二八	一一、一六
八、五六	一一、一六	一三、三六	一六、〇一
一三、三六	一六、〇一	六、一八	一一、一八
八、五八	一一、一八	八、五八	一六、〇三
一三、三八	一六、〇三	一三、三八	

10～11月のメモから

（自一〇月二一日 至一一月二〇日）

10・21日　臨時出納立会検査（二十三日まで）
29日　町職員レクリエーション大会（日景温泉）
29日　議会教育民生委員会開く
秋田営林局長来町
30日　消防団幹部会
31日　臨時町議会（会期十一月四日まで）
11・2日　第三回町内連合農産品評会（四日まで南中学校）
3日　議会総務委員会
4日　臨時町議会再開（同日散会）
5日　中央線〝合川橋〟の竣工検査実施
6日　町道中央線開通式
7日　町内各地区の秋季大掃除検査実施（十一日）
8日　公民館職員会議
10日　北秋田郡町村長会議（鷹巣町）
12日　議会総務委員会で国有林（小芦沢）視察
13日　児童福祉施設視察のため県福祉課長来町
16日　西地区公民館で移動婦人学級開設（日景温泉）
18日　全国町村長大会に出席のため町長上京（二十三日まで）
19日　東公民館で移動若妻学級開設（森岳温泉で）
20日　町職員事務研修会

五大ニュース募集!!

＝みなさんの投票で決めます＝

……応募規定……

①今年一年間（一月～十二月）に合川町で起きたあらゆる分野のニュースの中から最大と思われるものを五つ選び一から五まで順に書いて下さい。

②用紙＝郵便ハガキまたはこれに準ずるものを用い、住所、氏名、年令、性別、職業も明記して下さい。

③宛先＝合川町役場内総務課広報係へ

④締切＝十二月二十日（新年号印刷の準備上厳守すること）

⑤決定方法＝投票数の最も多いものから順位をつけ、1位から5位までをもつて町の五大ニュースとします。

⑥表彰＝合致者（順位も）に対し五名の方に記念品を贈呈いたします（但し合致者のない場合はもつとも近似のものとし、また合致者五名以上の場合は抽せんできめます）。

⑦発表＝〝広報あいかわ〟新年号（一月十日発行）紙上で行います。

◇町辞令

合川町事務吏員を命ずる　和田勇治
合川町教育委員会へ出向を命ずる　後藤圭子
雇を命ずる
税務課勤務を命ずる
合川駅前簡易郵便局業務係を兼ねて命ずる
（以上十一月一日付）

◇教育委員会辞令

合川町教育委員会事務局職員を命ずる　和田勇治
社会教育係を命ずる
（十一月一日付）

米作り合川一きまる
―反当四石八斗六升の金田さん―

町では、第四回全町水稲多収穫競作会の受賞者をこのほど発表したが、ことしの一等賞受賞は反当七二九キログラム（四石八斗六升）をあげた金田隆雄（三三＝西根田）さんにきまった。

ことしの入賞点数は、昨年の四十点にくらべて、二十三点少くなつているが、品種別にみると、農林四一号が断然他をおさえて十点を占め、チョウカイが五点で二位以下信交一九〇号、ハツニシキが二点ずつ、藤坂五号、農林一七号、中新一二〇号、オバコワセが各一点ずつとなつている。等級別受賞者は次のとおり（単位石）

◇一等賞
金田隆雄（西根田）四、八六（農林四一号）

◇二等賞
金田喜代之（西根田）四、一二六（ハツニシキ）
杉淵礼司（杉山田）四、一二〇（チョウカイ）
安部作太郎（新田目）四、一四（ハツニシキ）
伊藤信一（杉山田）四、〇八（農林四一号）
松橋佐五郎（摩当）四、〇二（農林四一号）

◇三等賞
伊東七郎兵衛（杉山田）三、九六（農林四一号）
三浦幹夫（三木田）三、九四（農林四一号）
三浦甚助（三木田）三、九三（農林四一号）
斎藤修一（新田目）三、九二（農林四一号）
伊東宗雄（雪田）三、九一（藤坂五号）
伊藤鉄郎（杉山田）三、九〇（農林四一号）

◇四等賞
佐藤与助（東根田）三、七八（農林一七号）
三浦松歳（三木田）三、七二（信交一九〇号）
桜田亀吉（東根田）三、七二（信交一九〇号）
畠山熊之助（木戸石）三、七二（中信一二〇号）
津幡キヌ（道城）三、六六（チョウカイ）
近藤喜代治（李岱）三、六〇（チョウカイ）
伊藤重治（杉山田）三、六〇（チョウカイ）
伊東正男（杉山田）三、五四（オバコワセ）
津幡重五郎（道城）三、五四（チョウカイ）
佐藤勘平（川井）三、四八（農林四一号）
三浦富司（三木田）三、一八（農林四一号）

NHK歳末たすけあい運動
素人のど自慢コンクール　出演者募集!!

〝NHK素人のど自慢コンクール〟の出演者を次の要項により募集いたしますので希望の方は町内外を問わず多数応募されるようお知らせいたします。

合川町共同募金会

◇**募集要項**

◎日時＝十二月十四日午後一時（開場は午前十時から）

◎会場＝合川東中学校講堂

◎申込期限＝十二月十日午後五時まで

◎申込方法＝出演種目曲目、住所、氏名、年令職業を往復ハガキに記入の上お申し込みのこと。

◎申込先＝合川町役場内のど自慢コンクール係

◎入場料
（前売券）大人五〇円　小人三〇円
（当日券）大人六〇円　小人四〇円

なおこの収益は、全部歳末たすけあい運動の資金に充当されます。

1、このコンクールの模様は録音の上十二月二十一日午後零時十五分から放送されます。

2、出演者全員に参加賞を、また入賞者には特別賞がそれぞれ贈られます。

3、アトラクションとして秋田放送局専属の歌謡曲、民謡の歌手の出演もあります

前売券は青年会幹部、日赤奉仕団幹部及び役場のど自慢係でおわけいたします。

福田部落が首位
―清掃検査からみた優良世帯―

町民生課ではことしも去る七日から十一日まで五日間にわたり「秋季清潔検査」を全町に実施したが、その結果がこのほどきまつた。ことしの検査はその重点を①便所の清潔は保たれているか。②流し尻の清潔はどうか。③家屋周囲の下水路の排水は良好か否か。の三項目について実施し、その各項目を見事にパス？して「清潔優良」の金紙を交付されたいわゆる〝清潔優良世帯〟は町内二、一〇八世帯のうち三一、七％に相当する六六九世帯であつた。

部落別にみると、いちばん成績の良好なのは、福田部落で三四世帯のうち二五世帯（七三、五％）が金紙を交付されるという優秀さを誇つている。しかし、この反面梅栄部落（一二世帯）では金紙の交付皆無という状況で係員をなげかせているところもある。

部落別ベストテン及び地区ごとの成績は次のとおり

◇部落別
①福田　七三、五％
②美栄　五七、七％
③合川　五一、五％
④杉山田　四八、〇％
⑤金沢　四六、一％
⑥三木田　四五、七％
⑦新田目　四四、一％
⑧大内沢　四二、一％
⑨西根田　四一、九％
⑩雪田　四一、七％

◇地区別
①南地区　三九、二％
②西地区　三五、二％
③北地区　三三、一％
④東地区　二三、〇％
⊙町全体　三一、七％

乳牛続々到着
―からかから北南から―
＝町の導入計画順調に進む＝

町では、畠山町長を陣頭に酪農振興に力をいれているが、去る十六日合川駅に乳牛二十六頭が到着、それぞれの導入農家に引取られたこの日到着の第一陣はまず午前十時二十分の下り列車で、北海道の黒松内から六頭、これは補助による導入分で、全部が妊娠牛、早いものでは十二月頃、おそくとも明年六月ごろまではみな分娩することになつており、直ちに牛乳の生産が可能な優秀乳牛ばかりで、南地区に導入された。

続いて午後六時二十分着の列車で大挙二十頭が山形県の天童市から到着、この二十頭は全部が当歳牛で農林省の「寒冷地振興対策」による貸付雌牛で美栄七頭、弥栄六頭、桃栄七頭となつている。

このほか、第三陣として、南地区に六頭、東地区に十頭が近く北海道江別から到着の予定であり、また下大野農協でも二十六頭を導入の計画で今月末頃に北海道日高地方へ出発の予定で、今年中には約七十頭の乳牛が町内に入るわけで、わが町の酪農振興の前途に大きな期待が持たれることになつた。【写真＝到着した乳牛合川駅で】

第三回農産品評会おわる
＝少ないながらも立派なものばかり＝

第三回町連合農産品評会は二日から四日までの三日間にわたり、南中学校を会場として開かれたが、ことしは四年続きの豊作とはいうものの、天候不順がわざわいしてか出品物は当初の予想をはるかに下回る三百余点にとどまり意外の低調さであつた。

しかし、この困難を克服して出品された農産物は農家がこの一年間丹精こめてつくりあげた逸品ばかりで、審査員も慎重に慎重をかさねる審査ぶりであつた。

なお第三位までの入賞者は次のとおり。

◇一等
▼**水稲**＝北林宇一郎（道城）▼**大豆**＝伊東尚治（杉山田）▼**白菜**＝藤島寒之亟（木戸石）▼**葉たばこ**＝桜田勝二（西根田）▼**大根**＝三浦重義（三木田）

◇二等
▼**水稲**＝佐藤岩子（川井）▼工藤力松（上杉）▼**馬鈴薯**＝伊藤尚治（杉山田）▼**大豆**＝伊藤善十郎（杉山田）▼**小豆**＝伊藤尚治（杉山田）▼**大根**＝近藤政之助（桃栄）▼**甘らん**＝鈴木キミエ（福田）▼**葉たばこ**＝加藤七雄（桃栄）▼**まゆ**＝鈴木市蔵（鎌沢）

◇三等
▼**水稲**＝北林健治郎（道城）▼山岡芳松（雪田）▼金田文四郎（摩当）▼**大豆**＝伊東鉄勝（杉山田）▼**小豆**＝伊東市蔵（杉山田）▼**苗木**＝合川町森林組合▼**馬鈴薯**＝伊東満（杉山田）▼**大根**＝畠山満男（美栄）藤田東一郎（同）三浦重義（三木田）松橋功（三里）▼**甘らん**＝鈴木スエ（福田）▼**白菜**＝藤島寒之亟（木戸石）▼**果実**＝伊東しゆつ子（杉山田）▼**葉たばこ**＝藤島佐一（美栄）藤島与一郎（木戸石）▼**甘藷**＝南中学校二年A組▼**まゆ**＝加賀ミエ（増沢）藤島為吉（木戸石）

◇四等
水稲＝佐藤フミ（川井）ほか五一点

八カ村堰工事に明るい見通し

米内沢用水改良県営事業の促進ならびに災害復旧工事は、関係六百余町歩の耕作者の関心事であつたが、町では、さきに町長と議会議員全員で県の土地改良部長に対して強力な陳情をするとともに、土地改良事業のベテラン笹山茂太郎、松野孝一の両国会議員にも陳情を続けていた。

さらに、このたび町農業委員会の席上で畠山（義）委員の発言により農業委員会としても陳情することとなりさきほど伊藤会長ほか六名の関係委員が出県して、陳情の結果「災害復旧工事は地元負担をさせないで県が直営で行うこと」と「本工事は三十四、三十五の両年度で竣工させる」との確約を得て帰町した。

これで東、北、西の各地区農民の心配ごとも一応解消される見通しがつき、竣工後の適期作付等による増収に期待がもたれている。

各地区で婦人の集い

◇**西地区移動婦人学級**

十一月十六日（日）正午から花矢町日景温泉で婦人会員約百六十名が参加して開催した。

この日講師として参加した畠山町長、安部落合農協組合長、金田町公民館長らかいろいろ有益な講話を聞き、さらに西分館主事補松岡良輔君のユーモアたつぷりな司会で地区（班）対抗の演芸会を聞いたり、折柄放送中の大相撲九州場所の実況をテレビで観戦するなど日ごろの労仂から解放されたお母さんたちは晩秋の一日を心ゆくまで楽しんで午後八時五十分着の下り列車で帰町した。

◇**東地区若妻学級、移動修研会**

昨年の第一回（日景温泉）に引続き、ことしは山本郡山本村の森岳温泉丸富ホテルで十九日（水）若いお母さんたち約五十名が参加して開いた。

講師は金田公民館長、松橋分館長それに教育庁北出張所渡部社教主事が特別参加して「二十の扉」「私は誰でしよう」「手踊り」などのレクリエーション指導を行なつた。また若妻学級の主任講師として今夏まで学級生に親しまれていた前町保健婦の津谷セツさん（現在秋田市居住）も出席し座談会に参加した。

◇**南地区で婦人大会**

勤労感謝の日の二十三日午前八時半から南中学校を会場に同地区の婦人会員及び来賓多数が出席して盛大にとり行われた。

講師として招かれた弁護士西岡光子氏は「社会のうら側から見た母親」また教育庁北出張所の社教主事高橋富太郎氏は「農村における婦人の立場」と題する講演で聴衆に深い感銘を与え、引続き「母親と社会」「農村と婦人の力」の二分科にわかれて討議を行い、さらに全体討議、レクリエーションなどを行なつて盛況のうちに午後四時過ぎ散会した。

町民の声

催し物の後始末はキチンとして下さい

私たちの住んでいる北地区では映画館の設備がありませんので、私たちの学校の講堂がよく映画その他の催し物の会場として使用されます。

比較的文化にもめぐまれていない地区だけに有料、無料を問わず、いつも観客は満員に近い入りようで、私たちに娯楽と文化を提供して下さるのはありがたいことですが、主催者側の人にお願いしたいのは会場の後始末を完全にしていただきたいということです。

食べ物のカラは散り放題ですし、土足で上つた後はありますし、教室から腰掛けを持つて来ては返さずにそのままといつた有様で、いつも迷惑するのは私たち生徒であるということを主催者であるおとなの方々は考えてみたことがあるでしようか。

あなたがたも、かつてはこの校舎で学び、そしてこんな経験に出つくわしたことがおありと思います。それを今あなたたちの弟妹や子供である私たちが経験して下さるようおねがいいたします。

映画やその他の催し物をされるみなさん、どうか私たちのこの願いごとをかなえて下さるようおねがいいたします。

（合川北中・一生徒）

あとがき

本町懸案の直線道路「中央線」がついに完成した。六日にはその開通式を行なつたが、合川橋の渡り初めをする関係者のどの顔もみんな嬉しそうにニコニコ……これで本町のバツクボーンが完成というわけで、まずはめでたいかぎりである。

◇

北中学校の一生徒からおとなの反省を促す投書があつたので、みなさんに紹介することとした。係も同地区なので、ときたま行つてみるが会場の整理などまつたくメチャクチャのときもあり、主催者たるおとなたるもの、よくよく心すべきであろう。

◇

霜の強い朝、庭の黄菊、白菊がまだ咲いている。はるかの山々はもうウツスラと雪化粧をほどこした。ことしもあますところわずか、やがて野も山もそして町も白一色に埋めつくす冬将軍の訪れも間近いことだろう

◇

気候の変り目、どうぞみなさんおかぜなどを召さないように……。

（S）